

# 令和2年度 山形県立東桜学館中学校・高等学校 『未来創造プロジェクト』全体計画概念図

## 学校教育目標

- ① 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする高い志を育てる。
- ② 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした創造的知性を育てる。
- ③ 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む豊かな人間性を育てる。

## SSH で身に付ける3つの力と2つの態度

探究する力      科学的思考力      他者を理解し協働する力      地域への貢献に対する態度      未来への責任に関する態度

## 『未来創造プロジェクト』基本目標

やまがたに対する誇りと愛着を育みながら、事象を総合的に追究する方法を身につけ、様々な視点から主体的に課題を見だし、多様な他者と協働して課題を解決する探究活動に進んで取り組む能力と態度を育てるとともに、自己の生き方や社会参画の在り方を考えることができるようにする。

## 目標を実現するにふさわしい探究課題

### 学びを活用する力

○これまで学んだ学習方法や科学的思考力をもとに探究し、変化する時代に対応できる力

### 自己を認知する力

○自分の興味や適性を正しく捉え、将来の夢や希望の実現までの道筋を構想できる力

### 社会を形成する力

○公共のため、課題意識を持ち、地域社会活動に参画し、未来に貢献しようとすることができる力

### 発展期

○養成期の学びの基礎の上に、自らが設定した課題に対し研究を行い明らかにし、他者に表現できる力

○自らの行為に当事者意識と責任感をもって、意志決定できる力

○お互いの良さを認め、個々のもつ特徴を生かしながら、協働して課題を解決できる力

### 伸長期

○自分の身の回りや地域における課題を、基本的な手法を用いて解決できる力

○自分自身が社会の一員であることを自覚し、自らの生活の在り方を見直すことができる力

○自分の考えを大切にしながら、他人の意見や考えを受け止め、尊重することができる力

### 養成期

## 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

### コンピテンシー

### スキル

高3

#### 科学的思考・地域・未来

自己と社会のかかわりを考えながら、これまでの学びをまとめ、論文として発信する能力

・まとめ整理する力  
・論文を構成する力  
・未来と地域への貢献

高2

#### 探究・科学的思考・協働・地域・未来

これまでの学びをもとに、持続可能な社会づくりに貢献するグローバルな視点で、自ら設定した課題を解決する能力

・課題研究の実践力  
・フィールドワーク実践力  
・情報収集する力  
・PDCA サイクル実践力  
・プレゼン力

高1

#### 探究・科学的思考・協働・地域・未来

探究基礎の学びを生かし、課題研究を実施する能力

探究基礎の学びをもとに課題研究の手法を学び、研究テーマを設定する能力

・課題研究の手法  
・リサーチ Q の設定  
・データ分析力  
・プレゼン力

中3

#### 探究・科学的思考・協働・未来

これまでの学びを生かし、自らの興味関心にもとづき課題を設定し、課題研究の手法により解決する能力

・意思決定力  
・プレゼン力

中2

#### 探究・協働・地域・未来

地域社会の一員として課題を見出し、自らの生活の在り方や社会との関わりを見直すことができる能力

・デザイン思考  
・情報の収集と整理（思考ツール）  
・プレゼン力

中1

#### 探究・協働・地域

仲間とともに身の回りをよりよくデザインする能力

・デザイン思考  
・チームワーク  
・インタビューの仕方

## 指導体制

- 全校体制での指導  
授業での連携、高校におけるゼミの支援
- 校務分掌  
担当分掌の設置と教科・学年との連携の推進

## 指導方法と評価法

- 概念図などを活用し、6年間の見通しをもたせた上で学習させる。
- 必然性のある課題設定となるように工夫する。
- PDCAサイクルによる探究活動の評価改善を行い、付けたい力を育成する。
- 仲間や出会う人々とのコミュニケーションや協働性を重視する。
- 中高の教員が指導方法について共に研究することで、中高一貫校として効果的な指導の在り方を探る。
- 取組みごとにアセスメント(事前・事後)を行い、自己評価と教員による評価を行う。
- ルーブリックを作成し段階ごとのパフォーマンスレベルを示し意欲的な活動を促す。

## 家庭・地域等との連携

- 地域住民、教員、小学生に対する発表会等への参加の呼びかけ
- フィールドワーク等の取組による地域人材等の活用

## 内 容

高3

#### 論文作成

・論文集の刊行  
・研究大会等での発表

高2

#### 課題研究（グループ・個人で課題研究を実施）

・地域フィールドワークの実践  
・中間発表会 10月、成果発表会 2月  
・課題研究実践コースからの深化  
・課題研究テーマ設定コースからの実践

高1

#### 課題実践コース

・テーマ設定とまとめ整理

#### 課題研究テーマ設定コース

・課題研究の手法とテーマの設定

↑ 2つのコースから選択 ↓

探究基礎講座（高入生と一貫生合同での学びあい）  
・有効数字・データ分析・CLILL・ラボポスターバトル

中3

#### 課題研究チャレンジ（個人・グループ研究）

・興味のある分野について、テーマを決定しリサーチクエスチョンに対して課題研究を行う  
・ジュニアフィールドワーク（校外学習）

中2

#### 地域や社会の課題を解決する力（個人・グループ探究）

・デザイン思考を活用し、広い視野で課題を見つけ解決する。  
・ジュニアフィールドワーク（校外学習）  
・プレゼン力を高める取組み

中1

#### 身近な課題を解決する力（グループ探究）

・デザイン思考による課題解決を学ぶ。  
・協働的な学習（情報の整理・まとめ・発表）  
・ジュニアフィールドワーク（校外学習）

国際理解  
↑（視野の拡大）↓  
プレゼンテーションや論文作成など多様な表現の場の設定  
ファイナルワーク  
※ キャリア教育その他の内容：適切な時期・期間に設定